

いせ



第65号

令和3年11月26日号

発行／伊勢市議会
編集／議会のあり方調査特別委員会
広報検討分科会

市議会だより

題字 四郷小学校6年 山本 沙季 さん



写真撮影時のみ、マスクをはずしています。

4年間

ありがとうございました

9月22日(水)の市議会定例会最終日に、現職の市議会議員が市長、副市長と一緒に記念撮影を行いました。

(藤原清史議員は欠席)

議員 藤原 清史

議員 宮崎 誠

議員 中村 功

議員 上村 和生

議員 楠木 宏彦

議員 野崎 隆太

議員 鈴木 豊司

議員 北村 勝

議員 井村 貴志

議員 久保 真

事務局長 中村 昌弘

議員 吉井 詩子

議員 野口 佳子

議員 福井 輝夫

議員 宿典 泰

議員 山本 正一

議員 世古口 新吾

議員 小山 敏

議員 西山 則夫

議員 品川 幸久

議員 岡田 善行

議員 世古 明

議員(監査委員) 辻 孝記

副議長 吉岡 勝裕

議長 浜口 和久

市長 鈴木 健一

副市長 藤本 亨

副市長 福井 敏人

主な記事

9月定例会の概要 2～3ページ

決算分科会審査の概要 4～5ページ

審議した主な議案の内容 6ページ

市政を問う(一般質問) 8～11ページ

高校生アンケート集計結果 12～13ページ

議会の4年間の主な取り組み 14～15ページ

9月定例会

令和2年度 決算審査

一般会計を賛成多数、 特別会計および企業会計を全会一致で認定

9月定例会の概要

令和3年9月市議会定例会は、8月30日から9月22日までの24日間の会期で開会しました。

今定例会では、令和2年度決算認定をはじめとする23議案が提出され、本会議、決算特別委員会、各常任委員会において慎重に審議した結果、各決算議案を可決・認定、他の議案もいずれも原案どおり可決、人事案件については同意しました。



決算の概要説明を行う北村会計管理者 (8月30日)



決算の監査結果報告を行う畑代表監査委員 (8月30日)

そのほか、報告5件を承認、請願1件を採択、発議2件を可決しました。また、9月6日および7日の本会議では、7人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

令和2年度各会計決算の概要は3〜5ページ、主要議案の内容は6ページ、議決結果は7ページ、一般質問と答弁の概要は8〜11ページをご覧ください。

9月定例会日程

- 8月30日。本会議 (議案の提案説明等)
- 9月6日。議会運営委員会。本会議 (委員会審査付託・一般質問等)
- 9月7日。本会議 (一般質問)
- 9月9日。決算特別委員会 (分科会審査)
- 9月9日〜15日 (9日〜15日)
 - 産業建設分科会
 - 教育民生分科会
 - 総務政策分科会
 - 産業建設委員会
 - 教育民生委員会
 - 総務政策委員会
 - 決算特別委員会 (全体会)
- 9月22日。議会運営委員会。本会議 (議案採決等)
- 産業建設委員会
- 教育民生委員会
- 総務政策委員会

決算特別委員会を設置

9月6日の本会議において、「令和2年度決算認定」外3件を詳細に審査するために決算特別委員会を設置し、「総務政策分科会」、「教育民生分科会」および「産業建設分科会」の3つの分科会を設けました。

その上で、一般会計、各特別会計および各企業会計の令和2年度決算について、9月9日、13日および15日の3日間、それぞれの分科会を開催し、審査しました。各分科会審査の詳細は4〜5ページをご覧ください。



決算特別委員会の吉岡委員長 (左) と久保副委員長 (右) (9月6日)

審査の結果

- 賛成多数で認定すべしと決定
- 令和2年度決算 全会一致で可決・認定すべしと決定
- 令和2年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び令和2年度伊勢市病院事業会計決算
- 令和2年度伊勢市水道事業の利益の処分及び令和2年度伊勢市水道事業会計決算
- 令和2年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び令和2年度伊勢市下水道事業会計決算

◆令和2年度一般会計・特別会計・企業会計決算（概要）◆

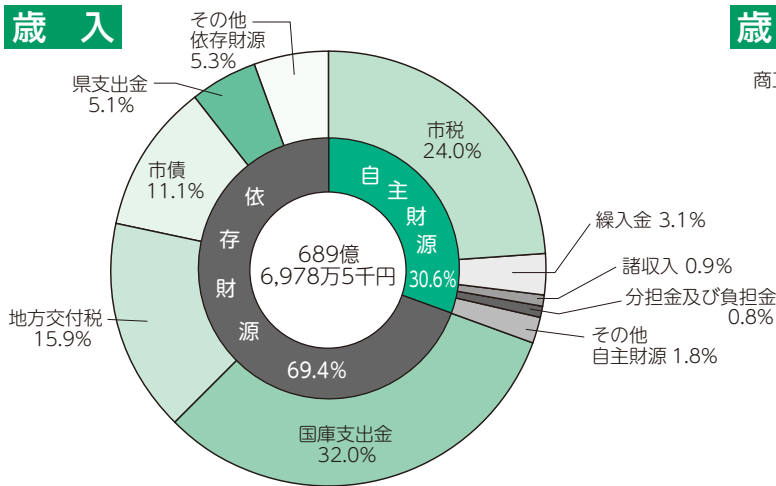
会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引差額
一般会計	689億6978万5千円	680億3283万2千円	9億3695万3千円 (基金積立額および翌年度へ繰越すべき財源を含む)

特別会計	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引差額
国民健康保険	129億2461万1千円	127億5656万7千円	1億6804万4千円 (基金積立額を含む)
後期高齢者医療	32億5292万円	32億544万8千円	4747万2千円
介護保険	148億674万円	142億5726万5千円	5億4947万5千円
住宅新築資金等貸付事業	494万7千円	459万4千円	35万3千円
観光交通対策	4億4516万6千円	4億4476万円	40万6千円
計 土地取得	11億3268万5千円	11億3235万8千円	32万7千円

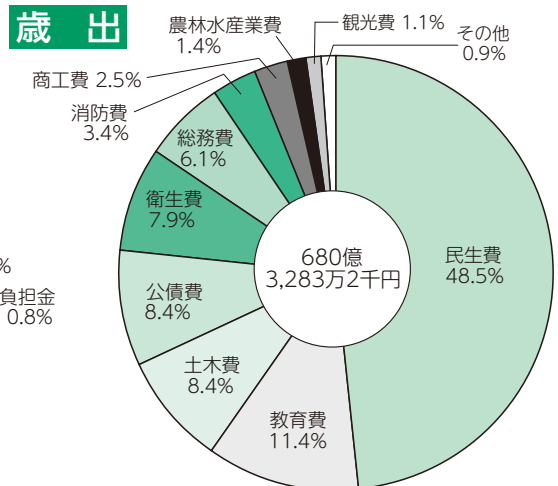
企業会計	収益的収入(税抜き)	収益的支出(税抜き)	差引損益
病院事業	83億5170万8千円	83億130万7千円	5040万1千円
水道事業	25億9636万3千円	22億6495万6千円	3億3140万7千円
下水道事業	35億5693万7千円	34億3466万7千円	1億2227万円

◆令和2年度一般会計決算の内訳（目的別）◆

歳入

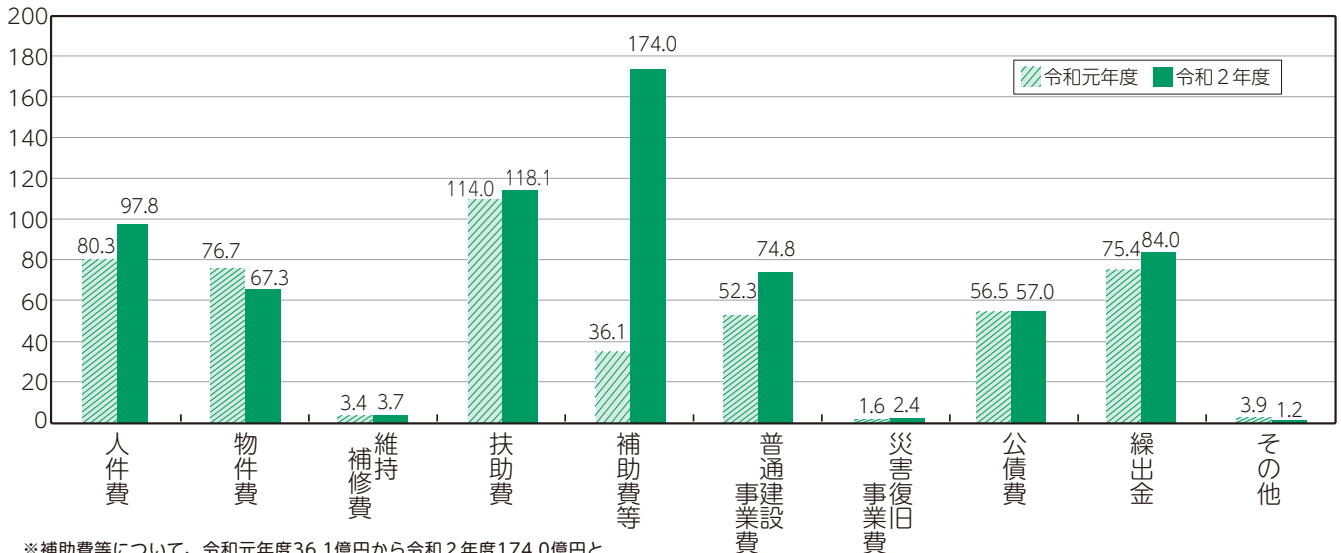


歳出



◆一般会計 歳出(性質別)決算額の前年度比較◆

(単位：億円)



※補助費等について、令和元年度36.1億円から令和2年度174.0億円と大幅な増額となった要因は、新型コロナウイルス感染症関連の補助金が増額となったためです。

決算審査

産業建設分科会（9月9日）

○歳出

総務費 駐輪場管理のコスト削減など

労働費 就職セミナーのオンライン開催、市内就職先のPRなど

農林水産業費 いちご産地の強化、スマート農業への転換、獣害対策、遊休農地活用、放置された森林の適正管理、干潟保全、陸地での栽培漁業、漁港管理など

商工費 産業支援センターの方向性を見直しなど

観光費 観光地のトイレ改修、伊勢志摩地域への誘客など

土木費 地籍調査、道路整備工事の早期完成、通学路整備、河川の浸水対策、踏切道対策、市営住宅の指定管理料の見直し、空き家の対策など

○特別会計

・住宅新築資金等貸付事業特別会計

・観光交通対策特別会計

・土地取得特別会計

○企業会計

・水道事業会計 計画の見直し、有収率向上のための漏水箇所早期発見など

・下水道事業会計 雨水処理対策、繰越工事への指摘など



産業建設分科会（9月9日）



産業建設分科会の審査結果を報告する北村会長（9月21日）

決算審査

教育民生分科会（9月13日）

○歳入

保育料収入過年度未納分の徴収率向上

○歳出

民生費 保健福祉拠点施設、障がい者サポーター制度、こども医療費助成制度、生活困窮者自立相談支援、保育士確保など

衛生費 新型コロナウイルス感染症の影響による市民の健康、路上喫煙対策、ごみの減量など

教育費 オンライン学習、新型コロナウイルス感染症が学校行事や授業に与える影響、不登校対策、教職員の健康管理、障がい者スポーツ、体育施設の管理など

○特別会計

・国民健康保険特別会計

・後期高齢者医療特別会計

・介護保険特別会計

○企業会計

・病院事業会計 地域への医療貢献に対する期待



教育民生分科会（9月13日）



教育民生分科会の審査結果を報告する吉井会長（9月21日）

決算審査

総務政策分科会（9月15日）

○歳入

寄附金活用の検証、財政調整基金の減少、合併特例債の活用状況、市町村合併の検証など

○歳出

総務費 職員研修の充実、人事評価制度の取組、出会い・結婚支援事業の推進、ご当地ナンバーでの伊勢志摩のPR、アウトソーシングの見直しの検討、地域に関する施策の周知、サウンディング型市場調査の活用、コロナ終息後のイベントの企画、コロナの影響による自治会・まちづくり協議会の運営への対応、ふるさと未来づくりの目標達成への取組、防犯カメラ設置の推進など

消防費 防災資機材の整備、訓練に対する補助など

教育費 情報戦略局文化政策課の体制、文化財に精通した職員・学芸員の確保など



総務政策分科会（9月15日）



総務政策分科会の審査結果を報告する小山会長（9月21日）

決算特別委員会（9月21日）・本会議（9月22日）

9月21日の決算特別委員会全体会で、各分科会の会長がそれぞれ分科会審査の結果を報告し、採決の結果すべて可決・認定され、これを受け、9月22日の本会議で、吉岡勝裕決算特別委員会委員長が決算全体の審査結果を報告しました。



決算特別委員会（9月21日）



本会議（9月22日）



決算特別委員会の審査結果を報告する吉岡委員長（9月22日）

二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、会議の動画が視聴できます。



- 22日・各派代表者会議
。 広報検討分科会
- 21日・議会のあり方調査特別委員会
- 17日・企画調整部会
- 13日・全員協議会
- 7日・広聴検討分科会
- 6日・企画調整部会
- 9月
- 30日・9月定例会
。 全員協議会
。 広報検討分科会
- 30日～9月22日
。 新型コロナウイルス対策会議
- 24日・新型コロナウイルス対策会議
。 条例等検討分科会
- 23日・議会運営委員会
。 同協議会
- 18日・総務政策委員協議会
。 全員協議会
- 17日・各派代表者会議
。 新型コロナウイルス対策会議
。 議会運営委員会
。 同協議会
- 17日・教育民生委員会
。 同協議会
- 16日・条例等検討分科会
。 同協議会
- 16日・産業建設委員会
。 同協議会
- 2日・8月
。 広報検討分科会

議会日誌

審議した主な議案の内容

令和3年度補正予算

▽令和3年度伊勢市一般

会計補正予算(第5号)

8079万8千円

総務費

・知事選挙経費

8079万8千円

三重県知事の辞職に伴う選挙経費を新たに計上。

▽令和3年度伊勢市一般

会計補正予算(第6号)

2億5005万4千円

観光費

・観光地等混雑緩和事業

1500万円

観光客が密を避けた観光ができるよう、観光情報や混雑状況を配信するデジタルサイネージの整備経費を新たに計上。



大仏山公園スポーツセンター外周路

消防費

・避難所感染防止対策事業

2253万6千円

避難所での感染リスクを減らすため、ワンタッチパーテーション等の資機材の購入経費を増額。

教育費

・ウォーキング等環境整備事業

3510万円

密を避けた屋外でのウォーキングやランニングのニーズの高まりから、利用者が増加している大仏山公園スポーツセンターの外周路の整備経費を新たに計上。

▽令和3年度伊勢市一般

会計補正予算(第7号)

1億5190万円

民生費

・子ども関係施設感染防止

緊急対策事業

4620万円

教育費

・子ども関係施設感染防止緊急対策事業

290万円

ワクチン接種の対象とならない児童等の感染を防ぐため、障がい児支援施設や放課後児童クラブ、児童養護施設、保育所、児童発達支援センター、幼稚園等の感染対策を強化するための経費を増額。

商工費

・中小企業者緊急支援金

1億80万円

緊急事態措置による飲食店の休業・時短営業、また外出自粛により売上げが大

幅に減少した中小企業者に対して、売上げの減少率に応じて事業継続を支える支援金の給付をするための経費を新たに計上。

条例

▽伊勢市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定

市民の市への各種申請や届出、市の機関等が行う処分の通知等をオンラインで行えるようにするほか、それに伴う情報システムの整備、情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間にできる格差(デジタルバイド)を是正するため、条例を制定するもの。

施行期日

令和3年10月11日

その他

▽小型動力ポンプ付積載車の取得

老朽化した消防団の小型動力ポンプ付積載車4台を新たに購入するため、議会の議決を求めるもの。主な装備としては、消防団員が消火活動で使用する小型動力ポンプやポンプ昇降装置等。

購入金額

3432万円



昨年度購入した車両(参考)

◆◆◆ 審議した案件と結果 ◆◆◆

全会一致の案件

【議案】

議案番号	案件名	議案番号	案件名
68	専決事項の承認を求めること（令和3年度伊勢市一般会計補正予算（第5号））	79	伊勢市教育集会所条例等の一部改正
70	令和2年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び令和2年度伊勢市病院事業会計決算認定	80	伊勢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準に関する条例の一部改正
71	令和2年度伊勢市水道事業の利益の処分及び令和2年度伊勢市水道事業会計決算認定	81	伊勢市国民健康保険条例の一部改正
72	令和2年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び令和2年度伊勢市下水道事業会計決算認定	82	玉城町の水道施設の伊勢市民の利用に関する協議
74	令和3年度伊勢市介護保険特別会計補正予算（第1号）	83	伊勢市と玉城町の間における下水道施設の利用及び下水処理の事務の委託
75	令和3年度伊勢市病院事業会計補正予算（第1号）	84	市道の路線の認定
76	伊勢市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定	85~88	人権擁護委員の推薦につき意見を聞くこと
77	伊勢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正	89	小型動力ポンプ付積載車の取得
78	伊勢市立幼稚園条例の一部改正	90	令和3年度伊勢市一般会計補正予算（第7号）

【報告】

7	継続費の精算報告	9	令和2年度決算に基づく資金不足比率の報告
8	令和2年度決算に基づく健全化判断比率の報告	10~11	専決処分事項の報告（物損事故）

【発議】

4	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出
---	--------------------------------------

賛否の分かれた案件

【議案】

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	21	22	23	24	25
議員名	宮崎	久保	中村	井村	上村	北村	楠木	鈴木	野崎	吉井	世古	野口	岡田	福井	辻	吉岡	品川	藤原	西山	小山	浜口	山本	宿	世古
議案番号	誠	真	功	貴志	和生	勝	宏彦	豊司	隆太	詩子	明	佳子	善行	輝夫	孝記	勝裕	幸久	清史	則夫	敏	和久	正一	典泰	新吾
議案番号	案件名												審議結果											
議案第69号	令和2年度決算認定												賛成多数 認定											
	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	令和3年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）												賛成多数 原案可決											
	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【請願】

請願第3号	子どもたちの「豊かな学び」の保障を求める請願												賛成多数 採択											
	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○

【発議】

発議第5号	子どもたちの「豊かな学び」の保障を求める意見書の提出												賛成多数 原案可決											
	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	

・○は賛成、×は反対。浜口議長は通常採決に加わりません。
 ・藤原議員は、9/22の本会議を欠席。

市政を問う

9月定例会では、9月6日および7日の2日間で7人の議員が一般質問を行いました。

その質問と答弁の内容を要約してお知らせします（発言順に記載）。

議案質疑…予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること

一般質問…市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること

動画配信について

一般質問ページにおいて、YouTube を利用した録画放送へリンクする二次元コードを掲載しています。各議員の掲載記事欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の動画が視聴できます。

一般質問

※インクルーシブ公園を作る考えはないか

答 現在整備中の公園に遊具の設置を予定している



吉井 詩子 議員
(公明党)



問 インクルーシブ公園とは、障害の有無や特性にかかわらずあらゆる子供たちが一緒に遊べる児童遊具広場である。具体的にどこにどんな遊具を設置するのか。

答 いせトピアで進めている公園にブランコの着座の一部をサポート付きシートにしたインクルーシブな遊具の設置を考えている。

問 障がい者サポーター等、市民に意見を聞きモデルとなる公園を整備してはどうか。

答 障がい者サポーター制度を積極的に活用しながら、まずは公園におけるインクルーシブの考え方を都市整備部門、福祉部門が連携、協議し検討したい。

福祉の制度につなげるための支援について

問 身体障害者手帳取得等、福祉の制度につなげるためには医療機関での診断書提出が必要である。経済的負担を減らすため、取得料について補助をしてはどうか。

答 生活サポートセンターあゆみ等、関係機関といういろいろな事例を検討する中で、状況も把握しながら研究していきたい。

問 市営住宅に入居する際、連帯保証人の確保が大きな壁となっている。連帯保証人の規定を外したらどうか。

答 60歳以上の方、障害のある方、生活保護受給者、

DV被害者等の方で連帯保証人確保が困難な場合、申し出により連帯保証人を2人から1人に減員できるよう準備をしている。



設置予定のインクルーシブな遊具

※インクルーシブ…「あらゆる人が孤立したり排除されたりしないよう援護し、社会の構成員として包み、支え合う」という社会政策の理念。

駅前ビルへの入居について、入居することはないと宣言してはどうか

【答】市としては慎重に対応していく必要がある



宿 典泰 議員
(政友会)



【問】駅前ビル入居には賃借料・駐車料・3フロアー工事代等20年間で総額33億300万円の費用がかかることから反対した。伊勢市人口ビジョンにおいても2040年には伊勢市の人口は10万人となる。市長選挙後の政策方針を問う。

【答】駅前A・B・C地区の再開発の完成が必要であり慎重に対応していく。

伊勢市行財政改革プランについて

【問】2021年までの4年間の評価・検証について問う。

【答】職員削減等の量的改革から生産性向上等の質的改革に軸足を移し改革を進め、一定の効果があった。

【問】質的改革では財政効果

一般質問

額も示されず行財政改革の手法・手段は間違っていないか問う。

【答】行財政改革プランは、事務事業の棚卸しを柱としており、事務事業の最適化・職員の意識向上が図られたものと考えられる。

【問】伊勢市が取り組むべき課題の中心は人口減少・少子高齢化・人口構造の変化である。どう対応するのか。

【答】公共サービスを持続的に提供する仕組みや体制の確立、デジタル化等に取り組む。

【問】財政収支の見通しにおいて、財政調整基金等が平成29年の251億円が令和3年までの4年間で148億円となる。今後5年間で枯渇するのではないか。

【答】コロナウイルス感染症

の影響で先行きは不透明であり大変憂慮している。



伊勢市駅前再開発ビル

子どもの感染防止策として、親世代へのワクチン接種は

【答】9月3日現在で、51%ほどが1回目の接種をしている



楠木宏彦 議員
(日本共産党)



【問】新型コロナ感染症拡大防止策をどう考えているか。

【答】子どもたちの感染拡大防止、公共施設の対策、相談支援体制の拡充、人流の抑制、ワクチン接種の推進、この5つの柱で取り組んでいる。

【問】自宅待機者への自宅生活応援パックは、毎日対応しているのか。

【答】休日等に関係なく対応している。

【問】12歳から15歳の子どもへの接種の進捗状況は。

【答】集団接種、個別接種あわせて、予約センターで受け付けたものだけで、70%程度である。

【問】保育士、学校の先生、放課後児童クラブ従事者等への接種の状況はどうか。

【答】優先接種の枠を設けて、希望者にはほぼすべての方に接種していただいている。

【問】「あゆみ」に寄せられている生活福祉資金等貸し付けの相談への対応は。

【答】生活困窮者自立支援金支給、生活保護受給等様々

な支援をする場合もある。

【問】生活保護に関して、緊急事態宣言中は、稼働能力の活用等の判断を留保できる旨の事務連絡が厚労省から出ている。対応は。

【答】ケースワーカー等で共有しながら適正に進めている。

【問】学校での子ども心のケアはどう対応しているか。

【答】市費のスクールカウンセラーの配置時間を増やし、すべての教職員が児童生徒の相談に対応している。



一般質問

風水害被害や南海トラフ地震の発生が想定されるが減災対策は

【答】 早期の避難や住宅耐震補強を広報等で周知する



世古口新吾 議員 (勢風会)



【問】 気候変動で風水害被害が年々拡大しているが対策は

【答】 国・県市で協議会を設立しハード、ソフト対策を行い、情報を活用し早期避難の重要性を周知している。

【問】 巨大地震が起こると30mを越える津波が押し寄せ、関東から九州にかけて約32万3千人が死亡、238万棟の建物が全壊焼失、経済的な被害は総額220兆3千億円に上ると言われているが。

【答】 津波タワー等の整備を終了し、避難所環境の改善、備蓄食や簡易ベッドの購入、施設のバリアフリー化、その他災害用トイレの整備、地域の防災訓練や自主防災隊の備蓄資機材を支援している。

【問】 農業政策について

【答】 担い手不足の現象が長い期間続いているが、農機具や設備投資が必要であり、労務単価が低く、収入面の不安等が要因と分析している。

【問】 結婚支援について

【答】 現状の取り組み、実績について伺いたい。

【問】 支援センターを平成27年10月に開所、年間約3千人の利用があり、従業員の結婚を支援する企業や団体198団体がいせ若者応援ネットワークに登録している。

【問】 市内の幹線道路の渋滞が土日祝日になると発生するが将来の改良計画は

【答】 道路整備プログラムに

【問】 道路整備プログラムに

基づき計画的に実施しており、安全かつ円滑な交通の確保に向け取り組んでいく。



南海トラフ地震の想定震源域

旧市からの中心市街地を経済政策の柱とすることに疑問はないか



【答】 市内全体の特性に合わせた在り方を引き続き求めていきたい

野崎隆太 議員 (野崎りゅうた)



【問】 鈴木市長が就任をされた平成21年度、県全体の総生産は7兆1553億円。当時の伊勢市は4691億円。平成30年との比較で県

【答】 県が公表した数値では平成21年度と30年度を比較すると市の市内総生産は減少している。これは21年度の建設業の売上高突出が要因であると分析する。また、県内南北格差も認識しており、定住自立圏の中心市として市内および圏域の経済規模の底上げに努めたい。

【問】 鈴木市長が就任をされた平成21年度、県全体の総生産は7兆1553億円。当時の伊勢市は4691億円。平成30年との比較で県全域総生産は8兆4113億円、約1兆3000億円上昇している。しかし、市の総生産は4448億円と約250億円弱減少した。四日市市は1兆4487億円が2兆2011億円、約7500億円増、いなべ市は2673億円が4631億円、約2000億円増、名張市は2381億円が2641億円、約300億円の増、伊賀市4014億円が5147億円、約1100億円増、総生産で伊賀市に伊勢市は抜かれた。同資料による市町民1人当たり所得は県内1位のいなべ市416万円、伊勢市は276万円、同じ県内で約140万円の所得格差がある。指標から考えれば人口流出はある意味当然で、市の実体経済は10年間無成長との懸念もしている。危機的な



※脱炭素社会の実現「ゼロカーボンシティ」に挑戦・表明するか問う

【答】 脱炭素社会実現に向け取り組みを推進し、宣言・表明を検討したい



宮崎 誠

議員
(新政いせ)



【問】 地球温暖化対策における実績と課題は。

【答】 住宅等への太陽光発電システムの導入促進、電気バスの導入支援などを行ってきた。温室効果ガスの削減についての課題は、市民のライフスタイルや事業所における事業活動の転換が必要。引き続き啓発を行う理解を深めていきたい。

【問】 県の地球温暖化対策総合計画と市の環境基本計画を踏まえた取り組みと課題は。

【答】 県と連携を図り、低炭素で地球に優しい社会の構築を目指している。脱炭素社会への課題は、事業者の協力、市民一人ひとりの意識改革が必要不可欠である。

一般質問

三重県パートナーシップ宣誓制度における支援のあり方について

【問】 行政サービスとして現在利用可能な支援は。

【答】 市営住宅への入居要件等、県下他市町と同様の取り組みを行う。市として引き続き対応できる制度の拡大について検討したい。

【問】 なりすましや偽造等への悪用される可能性をどう防ぐのか、対応策は。

【答】 宣誓書受領証の交付番号を県に確認するなど本人確認を行い、適切に対応していきたい。

【問】 ジェンダー平等の重要性という観点での課題は。

【答】 人権の啓発や様々な制度整備を進め、課題解決を

【問】 図り、全ての人々の人権が守られる心豊かで住みやすい街を目指したい。



伊勢市駅前B地区市街地再開発事業は今後どうなるのか

【答】 今年度中に完了させたいと考えている



小山 敏 議員
(祥山会)



【問】 再開発事業を完了させるには、工事代金を支払って建物の引渡しを受ける必要がある。金融機関が施行者に融資するには、以前は本市が再開発ビルに入居することが条件であったが、今も変わりはしないか。

【答】 変わってはいない。

【問】 施行者から会社の体制が変わったからと入居に向けた再協議の申出があったが、新社長は債権者である施工業者の社員。債権が回収できたら、まちなか開発に用はない。社長の名前が変わっただけで、実態は何も変わっていない。市長は全員協議会で施行者には最終通告をした。再協議はないと明言された。まちなか開発との再協議は有り得ないが、当局の考えを聞きたい。

【答】 慎重に対応していく。

交通弱者の外出支援策について

【問】 7月から高齢者外出支援モデル事業が始まったが、申請者も利用者も非常に少



利用開始の目途が立たない伊勢市駅前再開発ビル

【問】 ないのは何が原因か。

【答】 目的地について高齢者が必要としている部分と合致していなかった。

【問】 行きたい所へ直接送ってもらえなくて、全く利用価値がない。考えを改める気はないか。

【答】 今後事業を検証して、目的地や移動方法を考えていきたい。

【問】 本格運行についてどのように考えているか。

【答】 高齢者が利用しやすい、利用者目線で外出支援策を検討していきたい。

※脱炭素社会…地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量と森林等による吸収量が均衡し、排出量が実質ゼロとなる社会。

※ゼロカーボンシティ…脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにしていくことを表明した地方公共団体(都道府県または市町村)のこと。

伊勢市議会「高校生アンケート」集計結果

高校生から行政や議会等について意見を聴き、議会活動等に反映することを目的に高校生アンケートを実施しました。アンケートに御協力いただいた高校生の皆さん、ありがとうございました。

■ 実施概要および回答者の内訳

実施期間	令和3年7月1日（木）から令和3年7月30日（金）まで
対象	市内在住または市内の高等学校に通学する高校3年生
実施方法	伊勢市議会ホームページからアンケートフォームを利用し、回答（※回答は任意）。 なお、インターネット環境がない場合は、紙による提出も可とする。
回答数	443名（男性167名、女性247名、無回答15名、回答しない14名）

■ 伊勢市のことについて、下記（1）～（7）の質問にお答えください。

質問項目	「そう思う」	「どちらとも言えない」	「そう思わない」	合計
(1) 図書館やスポーツ施設など暮らしに役立つ建物が充実していると思いますか。	188名 (42.4%)	189名 (42.7%)	66名 (14.9%)	443名 (100.0%)
(2) 街並みがきれいだと思いますか。	203名 (45.8%)	193名 (43.6%)	47名 (10.6%)	443名 (100.0%)
(3) 地震や大雨などの災害に強く、安心して生活できるまちだと思いますか。	103名 (23.3%)	246名 (55.5%)	94名 (21.2%)	443名 (100.0%)
(4) 電車やバスなどの公共交通機関が充実していると思いますか。	138名 (31.1%)	158名 (35.7%)	147名 (33.2%)	443名 (100.0%)
(5) 買い物をする場所が充実していると思いますか。	151名 (34.1%)	166名 (37.5%)	126名 (28.4%)	443名 (100.0%)
(6) 飲食店や娯楽施設などの楽しいお店が充実していると思いますか。	144名 (32.5%)	170名 (38.4%)	129名 (29.1%)	443名 (100.0%)
(7) 観光客や移住等を希望している方にとって魅力あるまちだと思いますか。	205名 (46.3%)	188名 (42.4%)	50名 (11.3%)	443名 (100.0%)

■ 伊勢市がもっと魅力あるまちであるためには、何が不足していると思いますか。自由に記入してください。

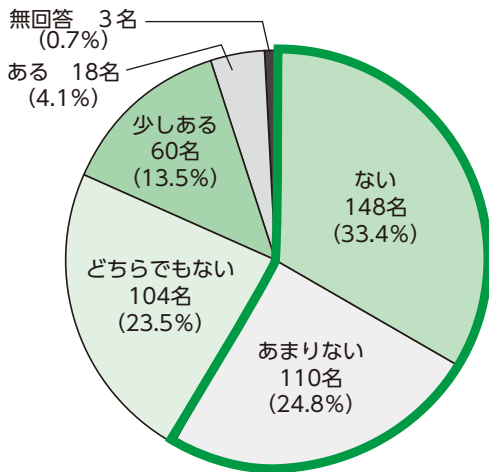
- 娯楽施設を増やしてほしい。【37名】
- 公共交通機関を増やしてほしい。（交通の便を良くしてほしい。）【29名】
- 買い物する場所（店）を増やしてほしい。【26名】
- 電車やJRの本数を増やしてほしい。【24名】
- ショッピングモール（商業施設）を増やしてほしい。【21名】
- バスを増やしてほしい。【16名】



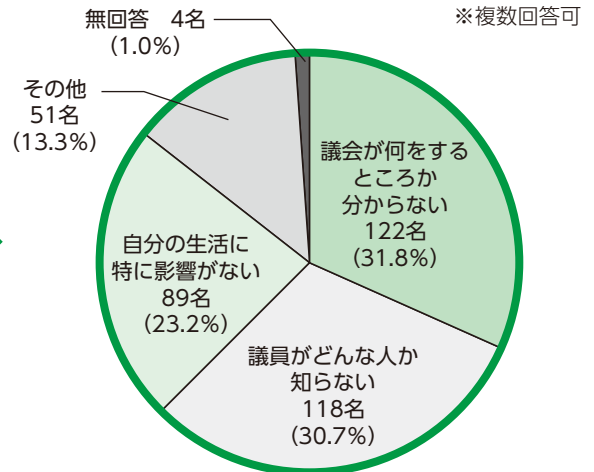
など

■ 議会や議員の活動に関心や興味があるか教えてください。

関心や興味 (合計 443 名)

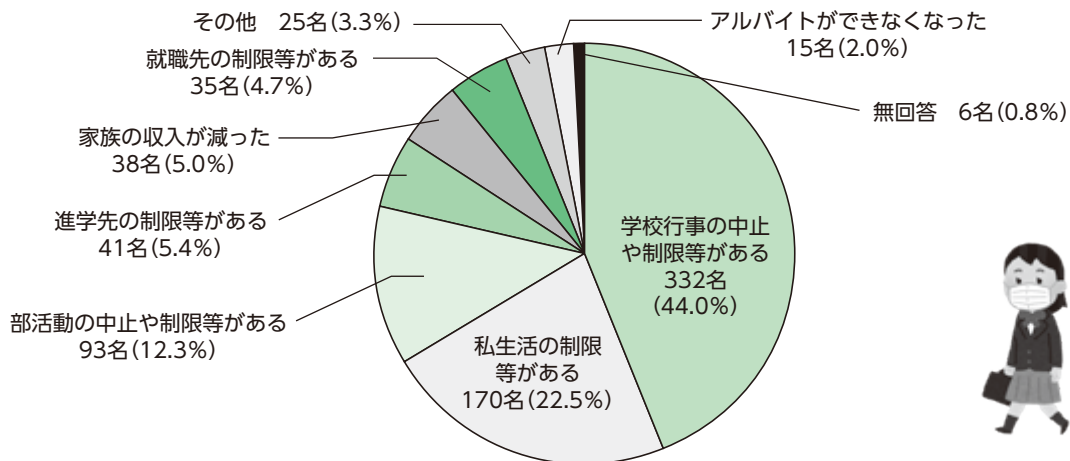


関心や興味がない理由 (合計 384 名) ※複数回答可



■ コロナ禍で困っていることについて、教えてください。

コロナ禍で困っていること (合計 755 名) ※複数回答可



■ 伊勢市について、意見や提案等がありましたら自由に記入してください。

- 税金を若者にもよく分かる形で使ってほしい。
- 祖母が免許返納後に出かけられる距離が狭くなった。バス停も歩いていける距離にない。
- バス停に屋根をつけてほしい。
- 登下校時のバスと電車の車両を増やしてほしい。
- 伊勢市は他県から見ても有名な地域だから、他県の方が必ず通る伊勢市駅、宇治山田駅周辺の施設をもっと充実させるべきだと思う。
- 山田山口駅の待つところが小さい、雨が入ってくる。
- 地震、津波への対処をもっとしてほしい。

など

紙面の都合上、掲載ができなかった回答もあります。それらは伊勢市議会ホームページに掲載しています。右の二次元コードからご覧ください。



伊勢市議会の4年間の主な取り組み

平成29年（2017年）11月から令和3年（2021年）11月までの伊勢市議会の4年間の主な取り組みを紹介します。令和3年11月27日からは新たな体制となりますが、これからも引き続き議会改革を進めていきます。

●いせ市議会だよりの表紙写真の募集を開始しました。
【平成30年（第53号）～】

●表紙の題字を市内の小学生から募集し、学校ごとに掲載
しています。【平成30年（第53号）～】

（これまでの採用小学校）
進修、修道、有緝、早修、中島、明倫、厚生、
神社、大湊、佐八、宮山、浜郷、四郷

※神社小学校と大湊小学校
は令和3年4月に統合し、
みなと小学校となりました。



●伊勢市議会政策立案及び政策提言実施要綱を制定しました。【令和元年10月】

平成29年に制定した「伊勢市議会基本条例」の一部改正を行い、政策立案機能の強化や市長等に対する政策提言を行うことについて規定するとともに、「伊勢市議会政策立案及び政策提言実施要綱」を新たに制定しました。

●伊勢市議会業務継続計画（議会BCP）を策定しました。【令和元年10月】

大規模災害発生時の議会と議会事務局の行動基準をより明確にするため、平成28年に制定された「伊勢市議会大規模災害対応基本方針」を見直し、「伊勢市議会業務継続計画（議会BCP）」を新たに策定しました。

●市議会防災訓練を実施しました。【令和2年2月】

「伊勢市議会業務継続計画（議会BCP）」に基づき、市議会防災訓練を実施しました。訓練は、議会休会中の災害発生を想定した非常参集、安否確認、非常通信など、対応行動の習得と議会中の災害発生を想定した避難経路の確認を行いました。

（議会BCPの対象とする想定災害）

1. 伊勢市内で震度5強以上の地震が発生したとき
2. 伊勢市に大津波警報が発表されたとき
3. 暴風、豪雨、洪水、土砂災害などで局地的又は広範囲な災害が発生したとき
4. 伊勢市内で大規模な火災、爆発、水難等が発生したとき
5. その他重大な災害が発生したと議長が認めるとき



防災訓練（令和2年2月17日）

●伊勢市高校生議会を開催しました。
【令和元年8月】



伊勢市高校生議会（令和元年8月8日）

●議会報告会・意見交換会を開催しました。
【令和2年11月】、【令和元年11月】、
【平成30年11月】



議会報告会・意見交換会（令和2年11月26日）

●新型コロナウイルス対策会議を設置しました。
【令和2年2月】

新型コロナウイルス感染症が急速に拡大していることを踏まえ、議会BCPに基づく新型コロナウイルス対策会議を設置し、情報共有や対策について議論を重ねてきました。

これまでに30回の会議を開催（令和3年9月現在）し、市長へ3度にわたり要望書を提出しました。

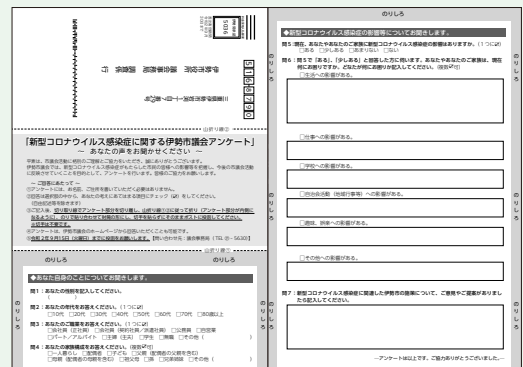


要望書提出（令和3年1月15日）

●新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査を実施しました。【令和2年9月】

新型コロナウイルス感染症による市民への影響等を把握し、今後の議会活動に反映していくため、全世帯を対象にアンケート調査を行いました。

皆さまからいただいたご意見等は要望書としてとりまとめ、令和3年1月15日に市長へ提出しました。



●議員定数検討会を設置しました。【令和2年3月】

議員定数について議員定数検討会でさまざまな観点から調査・検討を重ねた結果、令和2年10月の本会議で令和3年度改選時から定数を2名削減（26名→24名）とすることと決定しました。

●タブレット端末を導入しました。【令和3年1月】

コロナ禍や災害時を想定したオンライン化など、議会活動のデジタル化の推進とペーパーレス化を進めるため、タブレット端末を導入し、全議員に貸与しました。



表紙の題字は

四郷小学校の皆さんに書いていただいた作品の中から、今回は、山本沙季さんの「いせ」を採用しました。



将来の夢

動物が好きなので獣医や飼育員などの動物関係の仕事につきたいです。

四郷小学校6年 やまもと 山本 さき 沙季

いせ市議会だよりの表紙の題字は、伊勢市内の小学生から募集したものを学校ごとに掲載しています。

次号は、豊浜東小学校の皆さんの作品の中から採用する予定です。



表紙写真を募集しています

年4回(5月・9月・12月・2月)、市内の全世帯に届けられる「いせ市議会だより」の表紙をあなたの写真で飾ってみませんか。

詳細については伊勢市議会ホームページをご覧ください。



非接触型検温器を寄贈する竹本様(左から2番目)

いただいた非接触型検温器は市役所本館3階の伊勢市議会に設置し、活用させていただきます。

非接触型検温器、マスクを寄贈いただきました

伊勢市議会における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、9月2日に松阪市の情報システム・

J・T株式会社 代表取締役 竹本博志様から非接触型検温器1台と不織布マスク240枚を寄贈いただきました。

「9月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、各総合支所、伊勢図書館、小俣図書館へ12月中旬に設置の予定です。

また、伊勢市議会ホームページでも公開します。

各種ご案内

9月定例会会議録

9月定例会の詳細は、

「9月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、

各総合支所、伊勢図書館、

小俣図書館へ12月中旬に設置の予定です。

また、伊勢市議会ホームページでも公開します。

12月定例会は、12月上旬開会の予定です。

日程等は、決定次第、ケーブルテレビ、伊勢市議会ホームページでご案内します。

現職議員の任期は令和3年11月26日までです。令和3年11月27日からは新たな体制となります。

編集

議会のあり方調査特別委員会

広報検討分科会

会長 吉井 詩子

副会長 久保 真

委員 宮崎 誠

北村 勝

鈴木 豊司

岡田 善行

品川 幸久

小山 敏

問い合わせ先

伊勢市議会事務局(本館3階)

〒516-8601

伊勢市岩渕1丁目7番29号

TEL ②1-5630

FAX ②1-5631

Eメールアドレス

gikai@city.ise.mie.jp